

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業			担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～終了年度未定			担当課室	文化財部美術学芸課		美術学芸課長 江崎 典宏		
会計区分	一般会計			政策・施策名	文化による心豊かな社会の実現 XⅡ-2 文化財の保存及び活用の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第14条、第15条、第26条、第32条第1項			関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域との共働の下、海外の美術館・歴史博物館との交流、外国人利用のための環境整備、学校と連携した地域文化の担い手の育成等を図る取組など、美術館・歴史博物館が有する多面的な可能性を生かした事業の展開を支援する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記の目的を達成するため、次の事項に資する取組を行う団体に対して支援を行う。 ①地域の文化活動との共働による地域づくりの推進 ②外国人の利用促進と国際交流の推進 ③人材の育成や学校等との連携の推進 ④異分野の館などとの連携や海外への発信								
実施方法	■直接実施 □委託・請負 ■補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算				1,010	1,332		
		繰越し等				-			
		計				1,010	1,332		
	執行額								
	執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	地域との共働の下、美術館・歴史博物館が有する多面的な可能性を生かした取組の促進を図るものである。			成果実績					—
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助事業実施件数			活動実績 (当初見込み)			()	()	(36)
単位当たりコスト	27,880(千円/件)			算出根拠	文化芸術振興費補助金の予算額(1,003,680千円) /補助事業実施件数(36件)				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	文化芸術振興費補助金		1,004 百万円	1,323 百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」216百万円				
	諸謝金		1 百万円	1 百万円					
	職員旅費		1 百万円	2 百万円					
	委員等旅費		3 百万円	4 百万円					
	庁費		1 百万円	2 百万円					
計		1,010 百万円	1,332 百万円						

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	文化芸術振興基本法に掲げる「地域における文化芸術の振興」「国際交流等の推進」「美術館、博物館、図書館等の充実」等の趣旨を踏まえた事業であり、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	採択に当たっては、外部有識者による審査会議により競争性を確保している。 費目、使途は事業目的に真に必要なものを予算計上しており、対象経費は補助要項等で厳格に定めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	・美術館・歴史博物館の機能・役割は、優れた文化芸術の保存・継承、創造、交流、発信の拠点のみならず、地域の生涯学習活動、国際交流活動、ボランティア活動や観光等の拠点としても積極的に活用ができ、地域住民の文化芸術活動の場やコミュニケーション、感性教育、地域ブランドづくりの場としても極めて重要なものである。本事業は、地域ひいては我が国全体の活力の向上のため、美術館・歴史博物館を地域の文化の拠点として活性化するとともに、地域との共働の下、美術館・歴史博物館が有する多面的な可能性を生かした事業の展開を支援するものである。 ・文化芸術振興基本法に掲げる「地域における文化芸術の振興」「国際交流等の推進」「美術館、博物館、図書館等の充実」等の趣旨を踏まえた事業であり、国が実施すべき事業である。 ・採択に当たっては、外部有識者による審査会議により競争性を確保している。 ・費目、使途は事業目的に真に必要なものを予算計上しており、対象経費は補助要項等で厳格に定めている。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標もたてられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）（平成23年2月8日閣議決定） http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新25-0043

※執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文化庁
1,010百万円

諸謝金	1百万円	を含む
職員旅費	1百万円	
委員等旅費	3百万円	
庁費	1百万円	

〔 地域との共働の下、美術館・歴史博物館が有する多面的な可能性を生かした事業の展開を支援 〕



【補助】

A. 民間団体(36件)
1,004百万円

〔 地域との共働の下、美術館・歴史博物館が有する多面的な可能性を生かした事業を実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.民間団体			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	27,880千円×36件	1,004			
計		1,004	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0